

何をそれ以上望もうか

七月二十九日から八月七日 何をそれ以上望もうか

長い間、不規則な生活だが、のんびりした。

後になると、済んでしまうと、

「何が残ったかわからない、無駄な日々だった。」

と思うような、毎日だったけれど、

「楽しかったじゃないか、何をそれ以上望もうか」と考え直す日々。

僕はそんな青春の真ん中に今いるのか。

七月二十九日 水曜日 曇り

朝、ゆっくりして、温泉街を歩く。

十一時、バスで長崎へ向かう。

バスガイドさんともお別れ。

午後は長崎見学。

個人、グループ行動で、名所見学。

仲間がタクシーを貸切る相談している。

「俺はお金がないよ」と言うと、

「いいから、来い」と言ってくれた。

夕方、夜行に乗る。

初めて、くぐる関門トンネル。

長くて、まわりに水がしたたって、不気味。